

■ 概要

平成 23 年 5 月、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産の早期登録実現に向けて、大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市の 4 者が一体となって取り組む体制として、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議を設立。

今回（第 13 回）の会議では、平成 28 年 3 月に文化庁に提出する推薦書原案が了承された。併せて平成 27 年度の事業報告、平成 28 年度の事業計画案が諮られ、承認された。

■ 会議要旨

1. 開会（会長 代理出席 新井 大阪府副知事挨拶）

百舌鳥・古市古墳群は、昨年、国内推薦が見送られたが、新たに 28 年度の国内推薦、30 年度の世界文化遺産登録を目標に、推薦書原案の作成や機運醸成に取り組んでいる。

昨年末には、経済団体、文化関係者の方々、府内の市町村が発起人となり、「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する府民会議」を設立していただき、来月には共催のシンポジウムを開催することになっている。

また、3 月 19 日には、議員連盟の谷垣会長、平野副会長、北側幹事長による視察が行われた。

今年度は民間企業による協力も増え、このように多方面から様々なご支援をいただいております、心強い。

まずは、この夏、国内推薦に選定されるよう、4 者一丸となり頑張っていきたい。

2. 議事（本部長の竹山 堺市長が議事を進行）

〔議題 1〕 推薦書原案について

- ・資料「議題 1」に沿って事務局が説明。

〔議題 1 質疑〕

（新井 大阪府副知事）

- ・英語版の推薦書作成にあたり、留意した点、内容が変わった点はあるのか？

また、長崎の教会群が、イコモスの中間報告を受け推薦を取り下げることになった経過を踏まえ、今回の推薦書で対応していることはあるか。

（事務局）

- ・英語版の作成にあたり、昨年より、外国語がネイティブの考古学者を有識者会議に迎え、専門用語や表現方法について指導していただいている。また、昨年 10 月の国際専門家会議では、イギリス、中国、韓国から専門家を招き有益な意見をいただいた。

・今回の推薦書により、日本史の中の古墳時代を、外国の方に初めて本格的に紹介することとなるため、国内では当然に理解される専門用語について、コラム等の手法を用い海外の専門家にも理解していただきやすいよう配慮している。

・長崎の協会群は、イコモスの中間報告により、個々の構成資産 14 件が全体の OUV にいかに貢献しているのかという点の説明が不十分との指摘を受けたと文化庁から聞いている。

我々は、長崎が受けた指摘に対応するため、文化庁と協議を重ね、主墳と付属墳の説明、顕著な普遍的価値の説明等を強化させ、各古墳が OUV に貢献していることを示し、推薦書を書き上

げている。

* 議題 1 について了承。

〔議題 2〕平成 27 年度事業報告、〔議題 3〕平成 28 年度事業計画について

- ・ 資料「議題 2-①」「議題 2-②」「議題 3-①」「議題 3-②」に沿って事務局が説明。
- ・ 議題 2 の平成 27 年度最終決算については、後日各委員への説明、評決を行う旨、議長の竹山堺市長より説明。

〔議題 2、3 質疑〕

特になし。

* 議題 2、3 について了承。

〔議題 4〕その他について

- ・ 「百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産有識者会議規定」の改正及び「百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推薦書作成検討委員会設置規定」の改正について、資料「議題 4-①」「議題 4-②」に沿って事務局が説明。

〔議題 4 質疑〕

(竹山 堺市長) 有識者会議に加わっていただき、西村氏と稲葉氏の内諾は得られているか
(事務局)

- ・ お二人から内諾をいただいている。

* 議題 4 について了承。

以上